

# 新規作物(黒ゴマ、玉ねぎ、ニンニク)の試験栽培

## 状況

### 島根県 雲南市 上山地区

地区概要: 農地面積107.90ha(うち耕作放棄地19.40ha)  
 荒廃の理由: 農業者の高齢化、獣被害、営農意欲低下、雨水の流入  
 荒廃の程度: 雑草繁茂、樹木侵入。農業機械・重機による作業が必要  
 全体調査の区分: 黄



再生作業前

## 取組概要

対象面積: 260a(畑)  
 実施期間: 再生作業:平成22年2月5日～平成22年3月31日  
 栽培実証:平成22年9月～1年間  
 取組のきっかけ: 加工に適したゴマ・玉ねぎやニンニクについて、これらの作目は需要はあるが栽培実績が少なく、かつ高地栽培が適しているため試験栽培作目に選定した。  
 調整経緯: 地元の営農主体が取り組むため、地元の方に使って欲しいという地権者の要望とマッチし、農業委員会の仲介もありスムーズに調整が進んだ。  
 取組主体: 雲南市耕作放棄地解消対策協議会 (営農は農業参入企業)  
 取組作物: 黒ゴマ、玉ねぎ((株)吉田ふるさと村)、ニンニク((株)泰中建設)  
 作業内容: 雑草の刈り払い、整地、土壌改良、用排水整備、ボーリング井戸の掘削と用水タンクの設置、隣接地立木の伐採、獣被害防護柵  
 実証状況: 黒ゴマ:ほ場の半分で栽培中。残りは石が多く、来年整備し耕作する。  
 玉ねぎ:ほ場に石が多く栽培できず、除れきを進めた後に作付け予定。  
 ニンニク:定植に向け作業中。  
 出荷先: 自社加工、出雲大同青果

## 今後の予定

普及部やJAの指導を受けながら高品質生産に努め、新たな特産品としての確立を目指す。

## 再生状況



再生作業中(抜根)



ゴマ栽培中



ゴマ収穫後



実証ほの看板



再生作業後



作付け準備中



定植に向け作業中

現状

# 新規作物(大豆)の試験栽培

## 状況

### 島根県 雲南市 寺領地区

地区概要: 農地面積123.10ha(うち耕作放棄地18.80ha)  
 荒廃の理由: 農業者の高齢化、鳥獣害  
 荒廃の程度: 雑草繁茂、樹木侵入。農業機械・重機による作業が必要  
 全体調査の区分: 黄



再生作業前

## 取組概要

対象面積: 30a(水田)  
 実施期間: 再生作業:平成22年2月5日～平成22年3月31日  
 栽培実証:平成22年  
 取組のきっかけ: 大豆の品質が低く、思うように出荷が進んでいない状況がある一方、市内需要者からは安全・安心・高品質な市内産大豆の購入要望が多くあった。そこで、試験栽培を基に市内での高品質な大豆生産を拡大することにより、農家の所得の増大及び加工品生産の拡大を画策した。  
 調整経緯: 地元の営農主体が取り組むため、地元の方に使って欲しいという地権者の要望とマッチし、農業委員会の仲介もありスムーズに調整が進んだ。  
 取組主体: 雲南市耕作放棄地解消対策協議会 (営農は農事組合法人 桜川)  
 取組作物: 大豆  
 作業内容: 雑草の刈り払い、整地、土壌改良、用排水整備、鳥獣害防護柵設置、隣接地竹林伐採  
 実証状況: 大豆の試験栽培を実施中。  
 出荷先: 未定

## 今後の予定

営農主体である農事組合法人桜川にほ場を無償譲渡し、継続して利用してもらい、高品質な大豆の栽培に努めてもらう。

## 再生状況



再生作業中(整地)



大豆栽培中



実証ほの看板



再生作業後



大豆栽培中



大豆栽培中

現状

# 新規作物(ニンニク)の試験栽培

## 状況

### 島根県 雲南市 塩田地区

地区概要: 農地面積47.63ha(うち耕作放棄地10.60ha)  
 荒廃の理由: 農業者の高齢化、後継者不在、獣被害、湧水の流入  
 荒廃の程度: 雑草が繁茂。農業機械・重機による作業が必要  
 全体調査の区分: 黄



再生作業前

## 取組概要

対象面積: 70a(水田)  
 実施期間: 再生作業:平成22年2月5日～平成22年3月30日  
 栽培実証:平成22年9月～1年間  
 取組のきっかけ: ニンニクは過去に市内では栽培実績があまりないが、需要があり、且つ国内生産量は少ないため、比較的高値で取引されている。それに加え、寒冷地での栽培が適していることから、試験栽培を試みた。市内での生産拡大により、農家所得の増大を図ることを目標としている。  
 調整経緯: 営農主体の代表が地元の方で、耕作放棄地の場所を知っていた。耕作放棄地がまとまっており、地権者の了解が得られることを前提として結果的に今回の実証ほの面積に至った。また、実施主体はニンニクを栽培予定であるが概ね1ha規模の面積を求めていたため今回の場所を選定した。  
 取組主体: 雲南市耕作放棄地解消対策協議会 (営農は農事組合法人 出雲の夢)  
 取組作物: ニンニク  
 作業内容: 雑草の刈り払い、整地、土壌改良、用排水整備、猪等被害防護柵設置  
 実証状況: 秋に作付け予定。ほ場の一部でソバを栽培中。  
 出荷先: 未定。

## 今後の予定

営農主体による継続的な圃場の利用、栽培したニンニクの販売を実施し、新たな特産品としての確立を目指す。

## 再生状況



再生作業中(排水路)



ニンニク作付け予定



実証ほの看板



再生作業後



作付け準備中



ソバ栽培中

現状